

看護職員地域確保支援事業 **平成23年度復職支援研修プログラム**

支援プログラムⅠ型(1日)		支援プログラムⅡ型(5日)		支援プログラムⅢ型(看護師)(7日)	
講義をメインとするプログラム 対象: いずれ再就業したいと考えている方		模型を使用した手技演習をメインとするプログラム 対象: 再就業に向けて少しずつ準備したいと考えている方		病棟における実習をメインとするプログラム 対象: 近い将来の再就業を希望する方	
1 日 目	A M	オリエンテーション・交流会 1 H			
	P M	ナースバンク関係書類の記入・病院見学 1 H ・ 病院見学			
	A M	講義: 最近の医療・看護の動向			
	P M	講義: 医療安全・感染管理			
演習及び病棟での実習					
		内 容	方 法	内 容	方 法
2 日 目	A M	1 採血 2 輸液・静脈注射 3 筋肉・皮下・皮内注射 <事例を設定し指示に基づく実施> 1) 薬剤処方箋・指示の確認 2) 準備(薬品・ミキシング・ルート取り付け等) 3) 本人確認 4) 刺入部位の確認 5) 刺入: 駆血帯の扱い、刺入角度 6) 針とルートの固定 7) 滴下数合わせ 8) 輸液ポンプの取扱い etc	1 体制 研修生4人に対し1人の看護師が指導につく 2 準備 1) モデル(静脈・採血、筋注用等) 2) 椅子、注射台及びベッド 3) 輸液ポンプ 4) 車椅子、ストレッチャー、安楽枕 5) その他、それぞれの技術項目に必要な物品を準備 3 デモンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで演習 4 所要時間 一人20分から40分。一つの項目全体で2時間程度 5 自己練習 繰り返し練習する時間を設ける 質問をうける、実践指導等	2 日 目	1 採血 2 輸液・静脈注射 3 筋肉・皮下・皮内注射 <事例を設定し指示に基づく実施> 1) 薬剤処方箋・指示の確認 2) 準備(薬品・ミキシング・ルート取り付け等) 3) 本人確認 4) 刺入部位の確認 5) 刺入: 駆血帯の扱い、刺入角度 6) 針とルートの固定 7) 滴下数合わせ 8) 輸液ポンプの取扱い etc
	P M	4 吸引 1) 目的 2) 器具 3) 手技 4) 前後の看護観察 5 BLS&AED 1) 一時救命処置 2) AED使用方法	1 体制 研修生4人に対し1人の看護師が指導につく 体位変換等はPTと共に指導に当たる 2 準備 1) 吸引器具 2) レザシアン(2体)・気道管理トレーナー 3) アンビューバック 4) AED(2台) 5) DVD・PC 6) その他、それぞれの技術項目に必要な物品を準備 7) ベッド・車いす 3 デモンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで演習 4 実施	3 日 目	4 吸引 1) 目的 2) 器具 3) 手技 4) 前後の看護観察 5 BLS&AED 1) 一時救命処置 2) AED使用方法
3 日 目	A M	6 体位変換と移乗 1) 体位変換 上方移動、水平移動、仰臥位→側臥位、安楽な体位の工夫 2) 車椅子への移乗 仰臥位→端座位→車椅子(車椅子の操作) 3) ストレッチャーへの移動: 仰臥位→ストレッチャー etc	6 体位変換と移乗 1) 体位変換 上方移動、水平移動、仰臥位→側臥位、安楽な体位の工夫 2) 車椅子への移乗 仰臥位→端座位→車椅子(車椅子の操作) 3) ストレッチャーへの移動: 仰臥位→ストレッチャー etc	P M	6 体位変換と移乗 1) 体位変換 上方移動、水平移動、仰臥位→側臥位、安楽な体位の工夫 2) 車椅子への移乗 仰臥位→端座位→車椅子(車椅子の操作) 3) ストレッチャーへの移動: 仰臥位→ストレッチャー etc
	P M	7 薬の知識 1) 薬物療法について 2) 薬剤の投与経路と薬効 3) 処方箋や薬剤の確認の方法 8 酸素療法 1) 目的 2) 適応 3) 投与方法・使用方法 9 看護観察 DVD視聴 「フィジカルアセスメント」	1 講義 2 処方箋や薬剤を実際に見せ、具体例を挙げて説明 1 講義 2 酸素器具とSpO2モニターを実際に見て、使用方法を説明	4 日 目	7 薬の知識 1) 薬物療法について 2) 薬剤の投与経路と薬効 3) 処方箋や薬剤の確認の方法 8 酸素療法 1) 目的 2) 適応 3) 投与方法・使用方法 9 看護観察 DVD視聴
4 日 目	A M	病棟実習 1 病棟オリエンテーション 1) 病棟の構造、特徴 2) スタッフ紹介 3) 患者紹介 2 援助の実践 1) 環境整備(リネン交換) 2) バイタルサイン測定 3) 体位変換 4) 移乗、移送 5) 清潔の援助(口腔ケア、清拭など) 6) 食事の援助 7) 排泄の介助 3 カンファレンス参加	1 体制 研修生1人に1人の看護師が指導に当たる 2 病棟師長もしくは研修担当がオリエンテーションを行う。 3 看護師に付いて一緒に援助を行う。 * 援助の際は必ず患者様に了承を得る。 * 病棟で実習する場合は保険に入っていることを原則とする。 * 援助は病院所属の看護師の指導の下で行ない、原則責任は病院が負う。	P M	病棟実習 1 病棟オリエンテーション 1) 病棟の構造、特徴 2) スタッフ紹介 3) 患者紹介 2 援助の実践 1) 環境整備(リネン交換) 2) バイタルサイン測定 3) 体位変換 4) 移乗、移送 5) 清潔の援助(口腔ケア、清拭など) 6) 食事の援助 7) 排泄の介助 3 カンファレンス参加
	P M	ディスカッション(交流会) 再 就 業 支 援 相 談	ディスカッション(交流会) 再 就 業 支 援 相 談	5 日 目	ディスカッション(交流会) 再 就 業 支 援 相 談
5 日 目	A M	ディスカッション(交流会) 再 就 業 支 援 相 談			
	P M	ディスカッション(交流会) 再 就 業 支 援 相 談			
6 日 目	A M	ディスカッション(交流会) 再 就 業 支 援 相 談			
	P M	ディスカッション(交流会) 再 就 業 支 援 相 談			
7 日 目	A M	ディスカッション(交流会) 再 就 業 支 援 相 談			
	P M	ディスカッション(交流会) 再 就 業 支 援 相 談			

訪問看護ステーションコース(2日)

支援プログラムⅠ、Ⅱ、Ⅲ型受講後、訪問看護ステーションにおける実習を行う。

対象: 訪問看護ステーションでの看護に関心のある方

1 日 目	オリエンテーション 施設見学 基礎知識講義
2 日 目	マンツーマン指導(原則)で、在宅療養者に対する実習を行う。